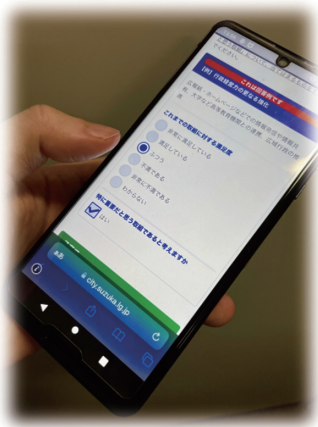




次期総合計画策定のための 市政アンケート結果をお知らせします

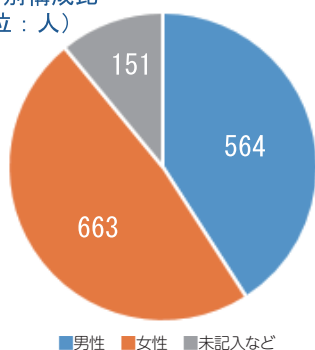
次期鈴鹿市総合計画を策定するに当たり、市政に対する市民の皆さんの意識やニーズを把握するために、アンケート調査を実施しましたので、結果概要をお知らせします。



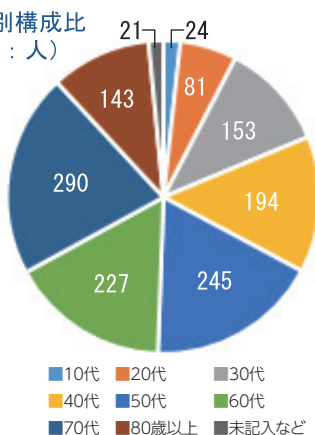
アンケート回答者は1,378人

市内在住の18歳以上の方から4,000人を無作為抽出し、郵送とインターネットにより6月8日から7月8日まで調査を実施しました。有効回答数は、1,378人(約34.5%)で、回答いただいた方の性別や年齢などの構成比は次のとおりです。

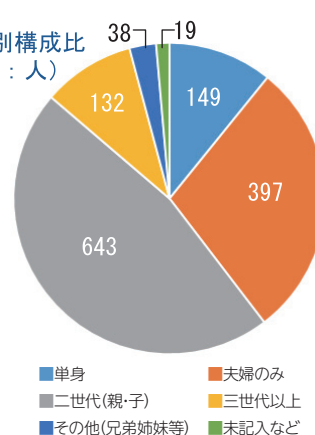
■男女別構成比
(単位：人)



■年齢別構成比
(単位：人)

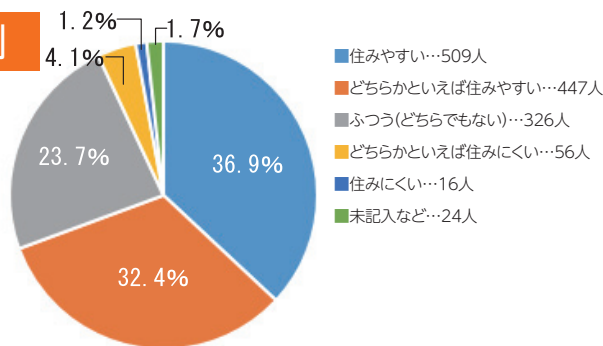


■世帯別構成比
(単位：人)



鈴鹿市は住みやすいところだと思う方は約7割

「鈴鹿市は住みやすいところだと思いますか」という設問に対し、「住みやすい」36.9%、「どちらかといえば住みやすい」32.4%という結果で、約7割の方が住みやすいまちであると感じていることが分かりました。

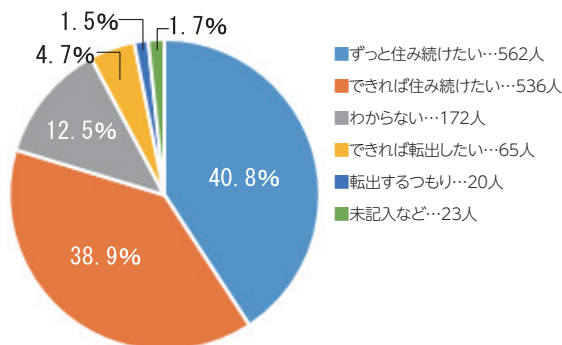


鈴鹿市に住み続けたいと思う方は約8割

「鈴鹿市にこれからも住み続けたいと思いますか」という設問は、鈴鹿市総合計画2023の将来都市像を測る全体指標にもなっています。結果は、下表のとおりで、「ずっと住み続けたい」40.8%、「できれば住み続けたい」38.9%で、約8割の方が、鈴鹿市内に定住意向があることが分かりました。

なお、住み続けたい理由(複数回答可)は、「自然が豊かである」51.4%、「治安が良く安心できる」38.7%、「働きやすい環境である」20.1%が上位でした。

一方、転出したい理由(複数回答可)は、「公共交通が充実していない」55.3%、「医療・福祉サービスが充実していない」36.5%、「道路が整備されていない」27.1%が多くありました。



取り組みの満足度・重要度と人口減少抑止策について

市の取り組み(11分野・40項目)に対する「満足度」と「今後、特に重要だと思う取り組み」について回答いただきました。満足度および重要度評価の高い取り組みは下表のとおりです。

一方、満足度評価の低い取り組みは、「移動空間の安全性・利便性の確保と公共交通の利便性の向上」「防犯環境づくりの推進」「消費活動の更なる活性化推進」でした。

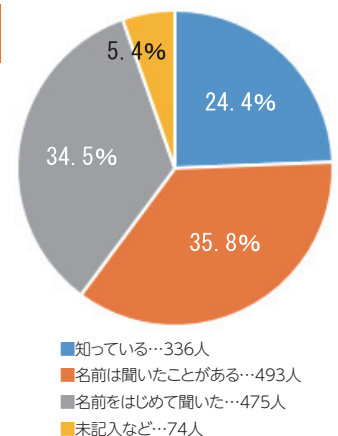
また、第2期鈴鹿市まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる3つの基本目標ごとに、人口減少抑止策として重要だと思う取り組み(複数選択可)を尋ねた設問では、「誰もが安心して働ける労働環境づくり」「良好な景観の創造・保全、空き家対策」「安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり」の3つの取り組みが、各基本目標における重要度評価が最も高い取り組みでした。

順位	満足度評価が高い取り組み	順位	重要度評価が高い取り組み
1	消防力の向上と施設などの整備の推進	1	医療体制・制度の充実
2	健康の維持と増進	2	社会を生き抜く子どもの育成
3	平等で平和な社会の実現	3	地域に根ざした高齢者福祉の推進
4	スポーツを通じた豊かさの醸成	4	子どもの保育環境と幼児教育環境の整備
5	安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり	5	安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくり
6	文化財保護の推進	6	防犯環境づくりの推進
7	男女共同参画社会の実現	7	交通事故対策の推進 市民の危機管理意識の醸成
8	行政経営力の更なる強化	9	教育環境の充実
9	子どもの保育環境と幼児教育環境の整備	10	防災力・減災力の向上
10	多文化共生社会の実現		

地域づくり協議会がどのような組織か知らない方は約7割

市と協働して地域づくりを行う組織「地域づくり協議会」に対する認知度は、右の円グラフのとおり、「知っている」24.4%、「名前は聞いたことがあるが、どのような組織か分からない」35.8%、「名前をはじめて聞いた」34.5%という結果となり、約7割の方が、地域づくり協議会がどのような組織か知らないという結果でした。

また、「地域と行政が協働でまちづくりを進めるためには、何が重要だと思いますか」という設問(複数回答可)に対する回答は、「情報の提供や交換」67.6%、「市民参加や参画」39.0%、「事業の共催」32.5%、「政策提案」31.8%という結果でした。



SDGsの内容までは知らない方は約6割

「SDGsを知っていますか」という設問に対し、「持続可能な開発を目指す上で、経済・社会・環境の統合が重要であり、それを実現するための具体的な目標が設定されていることを知っている」43.9%、「SDGsという言葉を知ったり、見たりしたことがある」29.9%、「知らない」22.7%、その他未記入などが3.5%という結果で、約6割の方がSDGsの内容までは知らないということが分かりました。

回答いただいた皆さん、ありがとうございました。詳しい結果は、市ホームページに掲載しています。

※端数処理のため、構成比率の合計が100%にならないグラフがあります。